

製作及び電動工具取扱講習会 @ 東大阪

9月25日東大阪工場にて『製作及び電動工具取扱講習会』を開催しました。現場で電動工具を使用する場面が多々ありますが、使用方法を知らなければ作業もできません。そして知識不足のまま使用すれば、怪我をする可能性があり非常に危険です。大阪イベント製作課3系の杉野係長指導のもと、注意点や危険行動の周知、そして実際に平台、木脚を製作することで身を持って体験し、肌で感じながら学ぶ時間となりました。講師をしてくれた杉野さんにインタビューしました。『講習を終えて参加者へ望むことはありますか？』

参加者への希望としては、今回の講習で教えた平台や木脚の製作が身につく、現場でも実践できるようになると大変嬉しく思います。また、個人として気をつけている安全対策は注意喚起の声かけとコミュニケーションをとることです。例えば、昇降盤の付近に、普段その周りで作業しない人が来たときは「危険だから作業中に昇降盤近くを通らないで」と注意をしたことがあります。現場でも慣れない人が作業する場面があるはずなので、同じように安全対策として生かせる点かと思います。なかなか全体でコミュニケーションをとるのは難しいですが、デザインや技術と事前打ち合わせの時間を取り、安全第一で業務をしていきたいです。



受講した新入社員感想

今回の講習会で初めて丸ノコを使用しました。自分自身の力の入れやすい体勢と安全な体勢が違い、つい置いてしまった手が危ない位置にあることも多々ありました。その時は周りの方からの「それ危ないよ」という声で怪我は防げましたが、現場では一人のときも多々あると思うので自分でもしっかり確認してから動かすことが大事だとわかりました。また、現場であるもので垂直をつくれたり、安全性を高める方法など教えていただいたのでそれも実践していこうと思いました。(新人 松田さん)



11月の気象病 ~季節性うつ病に注意!~

季節性うつ病は秋から冬にかけて現れやすくなります。どんな症状がでるのでしょうか？

- 睡眠時間が長くなり、日中でも眠気がある
- 食欲旺盛で、甘いものや炭水化物が欲しくなる
- 気分が落ち込み、無気力になる
- 集中力が低下し、日常の仕事・家事がうまく処理できない

季節性うつ病を緩和するための対処法はどんな方法があるのでしょうか？

- バランスの良い食事：脳の働きを整えるセロトニンを肉、魚、大豆やビタミン、ミネラルなどの栄養素を十分に摂取するようにしましょう。
- 適度な運動：ウォーキングなどの適度な運動を習慣化することで、落ち込みなどの心身にもたらされる症状を改善する効果が期待できます。
- 感情を話せる人を見つける：一人で悩んでいると気持ちの落ち込みが余計に悪化してしまうため、誰かに話をしてみるようにしましょう。
- 自宅や職場を明るくする：自然の光に多く当たるのが理想ですが、自宅や職場の照明を明るくするのにも取り替えることも効果的です。
- やることリストの作成する：やることリストを作成し、その通りに実行することで気持ちの落ち込みをや鬱鬱感を緩和することができます。

11月の気象病を理解して、体調管理を行っていきましょう。

11月5日 世界津波の日

1854年の安政南海地震による津波が和歌山県を襲った際の、「稲むらの火」の逸話にちなんでいます。全国各地で、津波防災の日を中心に地震津波防災訓練が行われます。

11月9日 119番の日

1987年に自治体消防発足40周年を機に、防火意識の喚起とともに、適正かつ迅速な119番通報を呼びかけるため制定された消防記念日の一つです。

この機会に防災を見直しましょう

綱元講習会

開催します! 告知

日時: 11月7日(木)
12:00-17:30

場所: 八尾プリズムホール
講師: 山名 直樹
主催: 安全衛生向上委員会